

## 肉量肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「菊重福」「第3原茂」の作出

平成10年度産肉能力検定（直接法）で選抜された候補種雄牛6頭について、平成13年度に同検定（間接法）を実施し遺伝的産肉能力を推定した。

その結果、2頭の候補種雄牛の検定成績が特に優れていたことから、凍結精液の供給を開始した。

### 種雄牛造成の概要

基幹種雄牛と基礎雌牛との交配により種雄牛候補を生産し、直接法により候補牛の飼料効率や体型等を調査する。間接法では候補牛の去勢雄子牛8頭を肥育し、枝肉形質を調査して基幹種雄牛となる個体を選抜します。

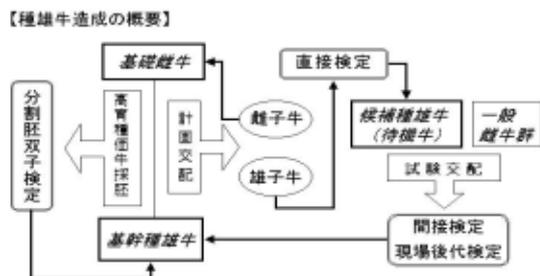


表1「菊重福」「第3原茂」間接検定成績(kg、cm<sup>2</sup>、cm、%)

項目	菊重福 (n=8)	第3原茂 (n=8)	全国平均 (n=293)
日増体量	0.98 ± 0.06	1.03 ± 0.06	0.94 ± 0.12
1kg増体TDN	6.70	6.39	-
枝肉重量	386.4 ± 19.7	404.3 ± 18.3	363 ± 44
枝肉歩留	59.6 ± 1.3	60.8 ± 1.2	-
ロース芯面積	54.0 ± 2.5	46.4 ± 3.7	47 ± 6
皮下脂肪厚	2.2 ± 0.3	2.7 ± 0.3	2.2 ± 0.6
バラの厚さ	7.0 ± 0.5	6.9 ± 0.6	6.4 ± 0.8
推定歩留	74.3 ± 0.5	72.6 ± 0.6	73.4 ± 1.0
脂肪交雑	3.0 ± 0.7	3.1 ± 0.6	2.9 ± 1.0
枝肉格付	A5:4 A4:4	A5:7 B4:1	A5:57.7% A4:22.5%

### 産肉能力検定(間接法)の概要

菊重福、第3原茂ともに日増体量、枝肉重量、脂肪交雑について全国平均を上回る良好な成績を示した。特に菊重福は、ロース芯面積についても全国平均を大きく上回った。

また枝肉格付における**上物率**(4等級以上率)は、菊重福、第3原茂ともに**100%**と全国平均の80.2%を上回った。



菊重福 調査牛 No.2

母の父:賢深 祖母の父:茂重波

枝肉重量:359 kg A 5



第3原茂 調査牛 No.7

母の父:第5夏藤 祖母の父:裕徳

枝肉重量:402 kg A 5

### 産肉能力の特徴

#### 【菊重福】

糸桜系および糸桜×気高系の雌牛との交配で**枝肉重量・脂肪交雑**に好成績が期待されます。また、気高系の雌牛との交配で**ロース芯面積**の改良も期待できます。

#### 【第3原茂】

気高系はもちろん田尻系の雌牛との交配で**枝肉重量・脂肪交雑**の改良に期待がもたれます。

担当研究室 畜産研究所 種山畜産研究室

〒029-2311 気仙郡住田町世田米字子飼沢30 TEL. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177